



2026年度（令和8年度）

「第1回 「不登校」を考える学習会」を開催しました。

2026.6.13（土） 小郡市人権教育啓発センター

演題：不登校についての理解と共感

～ 不登校のこどもの進路選択と

将来を見据えたおとなができる準備と心構え ～

本年度「第1回「不登校」を考える学習会」を6月13日（土）14:00より、小郡市人権教育啓発センターにおいて開催しました。

60名近くの方々に参加していただきました。保護者や学校関係者だけでなく、区長さんをはじめ、公民館長さん、民生委員・児童委員さんなど、多くの地域の方にも来ていただき、有意義な時間となりました。



今回の講師は、不登校生保護者の会「ぼちぼちの会」会長である木村素也先生にお越しいただきました。先生からは、「不登校は問題行動ではないこと」、「不登校は誰でもなる可能性があること」、「不登校は特別な子どもの行動ではないこと」そして、「子どもの自己決定を大切にすること」など、最近の社会状況を踏まえながら、おとなができる準備と心構えについて具体的にお話していただきました。学習会の内容についてご紹介します。

○ COCOLO プラン … 誰一人取り残されない学びの保障に向けた取組！

小・中・高等学校の不登校の児童生徒が急増しました。不登校により学びにアクセスできない子どもたちをゼロにすることをめざし、文部科学省は、誰一人取り残されない学びの保障を社会全体で実現するためのプランを取りまとめました。

- 1 不登校の児童生徒すべての学びの場を確保し、学びたいと思ったときに学べる環境を整える
- 2 心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援する
- 3 学校の風土の「見える化」を通して、学校を「みんなが安心して学べる」場所にする

～COCOLO プランを構成する3つの柱～（令和5年3月文部科学省）

○ 「不登校の何が問題なのか？」… 学校に行けば解決なわけではない！

木村先生のお話の中には、「学校に行かない（行けない）ことが問題」のではなく、「学校に行かない（行けない）ことによる不利益をこうむること」が問題であるという言葉がありました。不登校は決して、本人だけの問題ではないこと、まわりができる支援・学校に行かずとも不利益にならないような社会システムの構築の必要性を伝えていただきました。

また、子どもは、自分が学校に行くことができていることで、すでに自尊感情は下がった状態になっていること、だからこそ、目を向けるべきは、「できていないことではなく、その子が今できていること」であることも教えていただきました。子どもは、本来、認められたい・輝きたいという気持ちをもっています。おとなに少しでも共感してもらっただけでも、子どもは前を向けることがあることを、私たちおとなの課題として、子どもたちに向き合っていくことが大切だと感じました。



○ 「本人の自己決定を大切にしていこう」… 本人の自尊感情を低くしないこと

おとなは、本人の将来や進路のことを心配するが故、「できないこと」に目を向けてしまいがちです。しかし、子どもは調整する力をもっており、今できていることに対応し、自尊感情が保たれば、自然と変化は出てきます。大事なことは、「今できていることとできないこと」を子ども自身が決めることです。そして、まわりはそのことを否定せず認めることです。ただし、子どもが決めたことを「なんでもOK」にするのではなく、おとなが考えている思いをきちんと伝え、その上で、自己決定していくことが大切であることを伝えていただきました。



参加者アンケートより

- 具体的な支援の方法を聞くことができよかったです。大人が思うように子どもをコントロールしないこと、無理やり行動させずに自分で決めさせること、本当に大事なことだと思いました。何をどうしたらよいか悩んでいた自分の不安な気持ちが少し楽になりました。
- 大人の視点が大事だと感じました。ついつい、子どものせい、行ってない子に問題があると思ってしまうがちです。反省しました。子どもの自尊感情を高める取り組みを進めていきたいです。
- 自尊感情が意欲と自信のもとになること、できないことに執着するよりも、できることに目を向けてひとつずつ地道に取り組んでいくこと、そして、本人が好きなことや努力したこと、経験したことは必ず自分を支える力になること、展望をもたせることを改めて認識することができました。
- ココロプランのことを初めて知りました。学校そのものが大きく変わってきていると思いました。不登校になったときに自尊感情を低くさせないために、いろいろな手立てがあることを知りました。これらの情報を私も含め、知らない人が多いのではないかと思いますので、もっとみんな情報共有することが大切だと感じました。こういう学習会に参加することが大切だと思います。先生方にもたくさん来てほしいと思いました。

